

2022年11月30日
東京電力パワーグリッド株式会社

栃木西部エリアの電源接続案件一括検討プロセスの開始について

当社は、系統連系希望者から電源接続案件一括検討プロセス開始の申込みを受け付けました。また、同一系統他地点での過去の接続検討の申込状況等を踏まえ、栃木西部エリアにおいて同プロセス(以下、「本プロセス」といいます。)を開始いたしました。本プロセスの概要につきましては、別紙をご参照ください。

また、本プロセスの開始に伴い、本プロセスの対象となるエリアおよび上位にある送電系統に対し送電系統の容量を暫定的に確保します。

<暫定的に容量を確保する送電系統及び確保する容量>

66kV（栗野線）線及びその上位系統：0kW

66kV（岩沼線）線及びその上位系統：29,995kW

募集対象エリアにおいて、高圧以上の発電設備等の連系等を検討中の系統連系希望者におかれましては、本プロセスへ応募ください。本プロセスに応募される場合は、電源接続案件一括検討プロセスの手続等に従って応募してください。

なお、募集対象エリアにおける事前相談、接続検討、契約申込み等を行う系統連系希望者については、原則として一括検討プロセスが完了し、系統状況が確定した後に受付をすることになりますので、ご注意ください。

東京電力パワーグリッド株式会社ウェブサイト：電源接続案件一括検討プロセスのご案内

<https://www.tepco.co.jp/pg/consignment/system/process.html>

<留意事項>

- 発電設備等の連系等には全ての系統連系希望者が共用する設備以外の対策工事も必要となりますので、全ての系統連系希望者が共用する設備以外の対策工事の工事費負担金や所要工期等にご留意ください。
- 応募状況や応募結果を踏まえた発電設備等の連系等に必要となる対策工事の工事費負担金概算や所要工期等は、接続検討及び再接続検討の回答においてお示しします。
- 本プロセスの開始申込者及び応募者が、電力広域的運営推進機関の送配電等業務指針及び「業務規程第80条の規定に基づく電源接続案件一括検討プロセスの実施に関する手続等について」に違反した場合その他本プロセスの公平性又は透明性を阻害する行為等を行った場合、当社は、当該系統連系希望者を本プロセスから辞退したものと取り扱います。なお、辞退したものと取り扱われる場合、当該系統連系希望者が行った全ての行為（接続検討申込み、応募等）は無効となります。ただし、締結した契約に関わる行為は除きます。

- 現在、国の審議会において、ローカル系統混雑時の出力制御を条件に送電線への早期接続を認める「ローカル系統へのノンファーム型接続」について、受付を 2023 年 4 月 1 日より開始する方向で議論されています。本プロセスについては、この議論結果に伴い見直しをする可能性があります。

以上